一月二十日
常磐毎日新聞
日刊
定價 一部金貳錢 一ケ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料 五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 [illegible]崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話六二〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

科學と宗教

眞鍋雲山

明治初年には自由民權、文明開化の嵐が全國を風靡し、西洋渡來の物質文明が雷神の如き威力を振ふた。大正時代は文化の語に變つて、その餘勢を繋いだが、昭和となつてからは世を擧げて尖端スピード化し、猫も杓子も超特急車で追つかけられてゐるやうな慌たゞしさで人の心に安定がない。飛行機は地球を何べんでもグル〳〵飛び廻るけれども、それと反比例して世界的不況はいよ〳〵深刻となり科學の進歩は必ずしも人間生活を幸福に導くものでないばかりでなく、寧ろ器械文明の發達は人間の肉体勞働を不用化して、將來、ます〳〵合理的に失業苦、生活難を尨大ならしめやうとしてゐる。

茲に至りて、科學は必ずしも行き詰らざるも、科學の進歩の反比例して人間生活は漸次に行き詰つて來た。便利至極なラヂオや飛行機トーキーを眺めつゝ食うに米なき一家心中やギャング沙汰がます〳〵流行する。ラヂオ飛行機は無くもよい米とお金が欲しいといふ人間が無いであらうか。

惟ふに宗教とは人間完成への道を示すものであり、人生の幸福化を唯一の指標とする科學は矢はり、その幸福化廿傍薬的な目的であるにしても、本質的には必ずしも正面の指標ではない。科學の進歩は殺人器としての爆撃器や潜水艦や毒瓦斯をもヨリ以上に發達せしめつゝある。人間生活を幸福にするためには時々として科學が阻止をも必要とすべく、軍縮問題も或る意味での阻止運動に外ならぬ。人間が科學萬能を謳歌する時代には、宗教はその光芒をかくす。もと科學と宗教とは全然別個のものであるから、從つて毫も兩者の抵觸し矛盾することはないが、その宗教が人間的な思考に上り、人間生活に表現せらるゝとき、それは科學の立場から批判せらるべき多分の餘地を存する。しかしその批判の題材は　宗教の本質そのものではなく宗教の人間的な表現形式を捉への話に外ならぬ。人間の智識や生活は進歩するものであるから、表現された宗教形式も亦た發達する。その發達を歴史的に檢討するとき、幾多議論の餘地はある。しかも宗教の本質そのものは微動だもするものでない。如何となれば宗教とは眞理そのものでありその眞理に立脚して、暗昧なるものをして、眞理に目覺めしめ、眞理に立ち還らしむべき教へに外ならぬからである。

今日の飛行機や鐵砲はお釋迦さんでも御存知なからうと、唯物論者は得々として冷笑するが、釋尊の教へはそれ等の萬有一切が眞如の化現たるの本則を明らかにしそれ等の一切が無常遷流の體を有し、必ず寂滅にいたるべき萬物の終歸を明白にしてゐられる以上、如何なる科學も佛教といふ風呂敷内の一塵点に過ぎない。

人間の思考は、經驗の世界以外に一歩も出づるものでなく、たとへば『鳥の啼き聲は死人を豫知する』といふ話を『それは迷信だ』と科學者は一笑するが、人間の六感以外の感覺を有するのであらう鳥の第×感を有せぬ人間をして、つまり鳥の經驗なき人間に鳥の能力を否定する資格はない。阿彌陀樣になつたことの緣驗なき人間が、彌陀の形態を說き得る筈はなくたゞその光りに觸れるのであり、慈悲を感ずるのである。佛の境界は人間として未經驗の世界であり、從つて離言絕慮である。知ること能はずんば信ずるの外なく、この故に宗教の終局は信仰であり歸依である。

科學は經驗の世界立ち宗教は未經驗の世界に入る。未經驗の世界は不可知であるゆゑ、南無妙法といひ南無不可思議光佛といはれる妙法とは言說に表現し難きをいふ。無我に轉じて思議を超えずんば解脫安心は得られない〔了〕

ノート

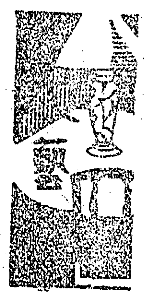
便利な長襦袢の仕立はつい丈にしておくのが便利です、長くして中におはしよりなどしておくと着物を着てから衿が出すぎたりして直す時に裾で引いて直すといふことが出來ません短かくしておけばそれが自由に出來るわけです

〓明日の献立〓

【朝】すまし汁―いてふ大根　乾海老馬鈴薯

【晝】煮肴―鮮魚　煮付　重ね蓮根

【晩】にしめ―里芋　ごぼう　人參



常磐歌壇

鹽野梅子

あかときがた雨降り來たらしも雨の音うつゝにきゝつ起きしぶりつゝ居り

この日頃寒さのとみに加りて朝床のぬくもりはなれがてつも

美味！芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

旭硝子株式會社製品
赤菱印 板ガラス
製造販賣
菓子壜
硝子食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町（電話一四二番）
◇支工場 仙臺市榮町（電話五九七番）

太平生命外務社員募集
身体強健　眞面目な奮鬪家を求む
入社希望者は左記に申出でられたし
平町二丁目地球堂内
太平生命保險株式會社
磐城方部事務所

毎度御ひいき有難ふ御座ゐます
うなぎの御用命は
うなぎ奴
平町田町（電話二二番）
ホール御座敷の設備あります。皆樣の御立寄を!!

貸切の●●●
御用命は！
獅子吼（四四九）ノ勢デ
眞先ニ……（マツサキ）
三九二タクシーへ!!!

斯界の權威!!!
大塚の靴
學生靴 自生編上靴 六圓 女學生半靴 五圓
紳士靴弊店自慢の流行新形
平田町
大塚製靴部
電話七七番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

舞ひ込んだ感謝狀で 生徒の人命救助現る

列車に挾まれ轢死の刹那 平商生危險を冒して救助

今朝平商業學校に『小生一月十八日學生列車に湯本驛より乘車の際危く轢死せんとした處を貴校三年生姓名不詳に救はれ九死に一生を得たが之も常に貴校の敎練宜しき爲と感謝する云々』の端書が記達されたので全校生徒を講堂に集め事實を調査した所湯本町よりの通學生同校三年鈴木正六君が一月十八日朝某會社員が列車の間に轉落轢死せんとしたのを發見危險を冒して救つたものと判明校長から推賞された

崩壞山林が 百卅餘町歩に亘る

夏井川沿岸の地層變化

既報石城郡平窪赤井川前の各村を貫流する夏井川沿岸の山林は大正十一年頃から地層の變化を來し暴風雨出水等の每に山林の崩壞が多く殊に平窪村大字上平窪字大澤地內の山林は現在三十餘町歩の崩壞に依つて農作用水路を埋沒する等の被害を見て居るので縣では工費七、八萬圓の砂防工事を行ふべく谷村技師が出張調査中であるが此外赤井、川前の崩壞地を合すると百三十餘町歩に達すると

敎育豫算

學務委員協議

平町役場では來る廿三日午後一時より會議室に於いて學務委員會を開き市內三小學校の八年度豫算並に學級增設其他に就いて協議すると

北滿水害 寄附謝狀

赤十字社から

平第一小學校少年赤十字團にては昨年九月北滿水害の罹災兒童に對し多額の同情金を送附したので本日日本赤十字社々長公爵德川家達氏より左の如き感謝狀を寄せられた

謹啓今次北滿松花江沿岸大水害に因る多數の罹災兒童に對し深き同情心の發露に依る貴少年赤十字團員各自の犧牲によつて得たる金品を寄贈されたるは團の主旨に副ひ寄特の行爲にして實に顯仰すべき義と存候就ては早速之を滿洲國中央政府水災救濟委員會に贈り適當の處理を請ひ右主旨の貫徹候樣取計ひ可申候間御諒知被下度候爰に貴團御芳情に對し衷心より感謝の誠意を表し候

漁港開發に 重要な小濱地內

道路の改修陳情

石城郡植田町字小濱地內縣道の急坂は小名濱、江名及び白河方面と茨城平潟、大津の各方面に通ずる漁業開發に重要な道路であるが同地內の路面は目下破損甚しく自動車の交通も困難な爲め根本的改修を實施され度いと昨十九日小濱區長鈴木兼松、漁業組合長豊田丑松の兩氏は平土木監督所に陳情した

新川改修完了後の 登錄勞働者救濟方

平土木委員が凝議

平町役場では今廿日午後一時より土木委員會を開會、新川改修工事完了後の登錄勞働者の救濟方及び次期匡救工事としての古川改修、豊間村より平町に申込んで來たレール賃貸其他に關して協議すると

夏井耕整許可 石城郡夏井村大字藤間部落では豫てより耕地整理組合を組織し設立許可方を縣へ申請中の處昨日付許可の指令に接した

磐女弓道

先生と生徒 競射を催す

磐城高等女學校弓道部にては明日午後一時より先生と生徒が合同で松浦先生審判の下に試合を開催するが出場選手は左の如く若し明日雨天の際は二十八日擧行すると

(先生A組)中川　永島　新妻　土岐(先生B組)佐藤　大內　鈴木光　志村　各先(生徒C組)鈴木キエ　神井ミサオ　酒井キヨ　富岡千代　野上トミ子　坂本チヨ子　遠藤ナカ

草野村の電話

三月から開通 架設申込み十三名

石城郡草野村郵便局では電話開通の計劃に依つて架設者を募集中の處此程定員の十三名に達したので愈々三月より開通する事となり平局にて交換手を養成中である

磐中で感冒流行

本日の欠席多數

磐城中學校にては昨今職員及び生徒間に感冒流行し本日も職員六名、生徒百三十二名の多數が欠席した

赤十字團出品 平第一小學校少年赤十字團にては來る三月三重縣桑名町第四小學校に催される全國少年赤十字團員の製作品其他敎育參考品の展覽會に圖書書方、手工、手藝作品其他鄕土に於ける地理、理科、國史に關する參考品を各出品すると

平町人事

回出生

△杉平二〇　若松勇氏二女禮子

△搔捏小路二〇　當時東京市杉並區馬橋四丁目五二九　丹吳忠雄氏長女俊惠

回婚姻

△茨城縣猿島郡古河町五三五五　坂田幸三氏(四〇)　平町研町二　吉村ミヨ(三九)

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

食事と喫茶
カフエー　平一
電話四六番

二日市の景品は
左の通り御實行を希望します

一、現金にて買上の方に景品を呈する事

一、現金にて商品券買上の方にも同樣景品を呈する事

但し商品券にて品物御買上の場合は景品は差上げぬ事

昭和八年一月廿日

平商工會

各商店御中
御客樣御中

病後の巡査に重傷を負せて逃走
漁具窃盗嫌疑の朝鮮人　平署に連行される途中

石城郡豊間村漁業組合では去る十日以來組合漁具倉庫より毎夜の如く金具類を窃取されるので

屆出に 依り加藤駐在巡査が內偵した結果同村下町居住潜り古物商朝鮮人石山長太郎（三六）を怪しと睨み去る十八日午前十一時頃同人を平署に連行取調べんと乘合自動車を待合せ中石山はましらの如く逃走突然附近山林に逃げ込んだので直に追跡し諏訪神社山道にて追付き大格鬪となつた處犯人は非常な

腕力を 有し一方巡査は病後療養中の事とて力及ばず顏面腕等に重傷を負ふてひるむ隙を見た石山は再び何處へか逃走行衛を晦したので平署では目下大搜査中である

就職兒童の斡旋方を協議
平紹介所の協議會

平職業紹介所では本年三月平第一外郡內十三の連絡小學校を卒業する就職希望兒童百五十餘名に對し就職斡旋連絡の爲め來る廿三日午前より町役場會議室に各小學校長受持敎員等を招集協議する事になつた

虎眼治療
全治が十名

平第一小學校今學年初めに於けるトラホーム患者は千五百四十八名中四十五名あり每週二回宛校醫星恒明氏が治療に當つて居たが昨日再檢査を行つた所全治者十名であつたと

橫領でない借りたんだ
伊藤兼吉の申立

平町材木町十五番地伊藤兼吉（四八）が山野邊辯護士より加藤鶴之助に返還すべく依賴された保證金八十圓を橫領した事件の公判は本日午前九時より平區裁判所に於て闢口判事係り小林檢事立會眞木辯護士列席の下に開廷判事の訊問に對し辯護士より預つた事は事實でが橫領したものではなく借受けて居た迄であると申立たが檢事より懲役六ヶ月を求刑された因に言渡しは明日午前九時であると

大敷網の秋職は意外に惡かつた
暴風雨の被害を受けて

石城郡豊間村の大敷網は去る十八日を以つて秋職を終り作業用具の一切を陸揚したが今期の漁獲は約三萬餘圓で例年の漁獲成績より非常に惡いが是れは昨年暴風雨の結果漁具の不揃と漁業期間の短かつた爲めで漁夫連は約一ヶ月正月休をなして次の春職に移るべく夫々鄕里の新潟縣へ引揚た

果實の品質を統制
農事試驗分場が苗木配給

石城郡神谷農事試驗分場では郡下より產する梨、柿、桃等の果樹類は一般に品質が揃はぬ爲め販賣統制上非常に不利な立場にあるので數年前より梨は夜石、大白廿世記、長十郎の各種、桃は大正、早稻、岡山五號、柿は蜂屋柿等に統制し現在年產額十一萬圓餘の取引を見て居るが各農家では每年苗不足を訴へるので同場では來月中各果樹二千本づつの接木を行つて今秋の各業者に分讓すべく準備中である

アザラシ觀覽

平第一小學にては本日全校兒童に對し去る十七日豊間村で生捕りにしたアザラシを觀覽せしめた

明日のラヂオ
廿一日

天氣豫報

今晩は北東の風小雪模樣明日は天氣良くなる

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 お話「妙圓寺詣り」藤田茂

▼後七、三〇 講演「ナイルデルタの旅」岡山醫大敎授醫學博士 鈴木稔

▼後八、〇〇 室內樂（ヴァイオリンピアノ二重奏）ヴァイオリン 遠山芳藏 ピアノ 遠山艶子

▼後八、三〇 小唄 唄 春日とよ 三味線 春日とよ菊

▼後八、五〇 連續浪花節「南山血染の聯隊旗」第一席 東家樂燕

▼後九、四〇 全國ニユース

明日の部

氣象通報 番組豫告

▼前九、一〇 料理献立「平目の揚げ物とろゝ汁」佐藤つぎ

▼前一〇、三〇 家庭編物講座「和洋服兼用のちやん〳〵」（終）小原靜惠

▼後〇、〇五 吹奏樂海軍軍樂隊內藤淸五

▼後二、〇〇 家庭大學講座「經濟學」（二）東京帝大敎授法學博士河津進

▼後四、二〇 大相撲春場所狀況（九日目）＝國技館より中繼＝

▼後五、三五 受驗講座「國語」內海弘藏

▼後六、〇〇 子供の時間 童謠とピアノ 福島縣師範學校附屬小學兒童 ピアノ伴奏 淸野健

▼後七、三〇 御製御歌の奉頌「歌御會始の御模樣」宮內省御取所寄人千葉胤明外

▼後八、三〇 薩摩琵琶「楠正成」本楯芝水

▼後八、五〇 連續浪花節「南山血染の聯隊旗」（第二席）東家樂燕

▼後九、三一 滿洲より

川前收入役代理 公金費消で起訴

石城郡川前村役場書記收入役代理永山新三（四三）が在職中公金數百圓を費消した文書僞造行使詐欺事件は過般來平檢事局に於て小林檢事係りの下に取調べ中の處本日起訴收監され豫審に廻された

無錢飮食檢擧

石城郡夏井村大字山崎字田中島生れ當時住所不定鈴木宏（三四）は去る十八日午後四時頃相馬郡中村町荒町飮食店片桐ベン方に於いて三圓餘の無錢飮食をなし代金を迫らるゝや主人片桐藤藏の顏面を毆打して全治二週間の打撲傷を與へて中村署に檢擧された旨にて本日平署に同人の身元照會があつた

平商滿蒙講演

平商業學校にては本日放課後宮崎哲州氏の滿蒙實見談と題する講演があつた

平裁判たより

▼双葉郡津島村大字南津島字上治田六十一番地炭燒紺野正雄（二二）は昨年十一月中五六回に亘り同村大柿常松の娘ツネ及び高野ミヨノの娘ノブイの許に忍び入り住居侵入罪として罰金二十圓

△平町字正月町一番地深谷市三郎（三三）は六年八月下旬同町字立町五十八番地岡部金治方猪腰三郞よりダイナマイト四本及び工業見雷管四個を讓り受け昨年一月中旬迄自宅箪笥內に藏ひ置き火藥取締令違反として各罰金二十圓宛に本日各平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

平職業紹介所報告

回 人を求める方

△女中 二十才 尋卒 月四圓（平町某醫師）

回 職を求める方

△魚屋雜夫 二十五才 尋卒 八九圓（小名濱某）

△給仕見習 十九才 尋卒 仕着外五圓（平町某食堂）

△女中 二十才 尋卒 給料面談（平町某）

△菓子職見習 十八才 高卒 給料面談（平町某）

△雜夫 四十九才 尋卒 給料面談（東京市某）

△事務員 二十四才 高卒 給料面談（內郷村某）

△鳶職 三十三才 尋三修 給料面談（內郷村某）

△大工 二十七才 高卒 給料面談（田村郡某）

看護婦急派の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

千葉の劍士

【禁轉載上演及映畵】

悟道軒圓玉演

近藤紫雲畵

第二百四十八席　千葉周作（3）

とんび細川の折助

魚屋の清公は千葉先生の様子を見て

清『なんでござんすか元先生は平手さんの師匠を御存知でござんすかえ』

周『それは存じ居る、造酒に劍法を敎へたは拙者である』

イヤこれを聞いて清公びつくりして

清『おまへさんが平手さんのお師匠さんでござんすかえ、そいつはちつとも知らなかつた、どうぞ御勘辨下さいまし、平手先生ばかりが惡いわけでは無えその師匠もわからねえ奴だと申しましたはどうぞ御勘辨下さいまし』

周『シテ造酒はいづれで死に居つたか』

清『飯岡へ斬込んで引揚げる途中ズバリと殺られましてござんす』

周『何者の爲に死せしか、手を下した者は誰か』

清『それは先生不思議でござんす』

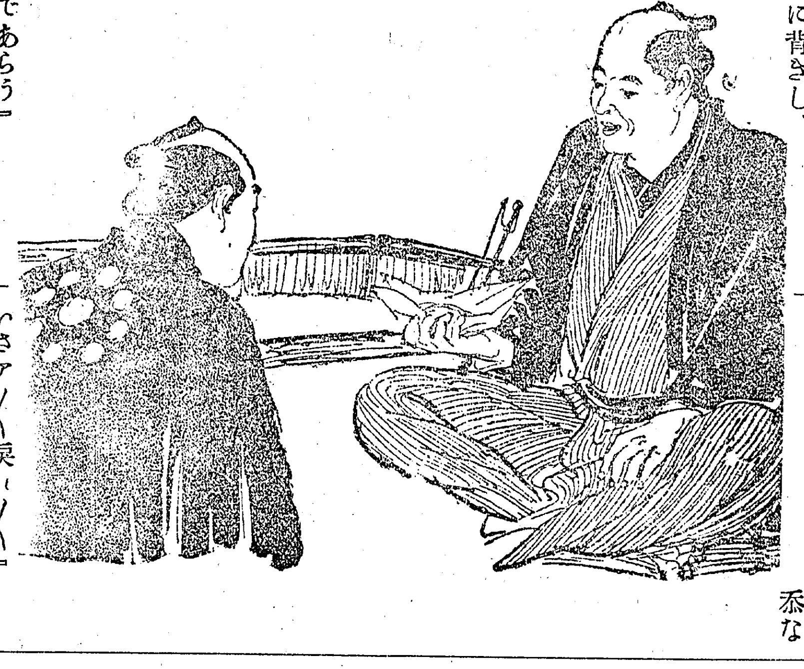
周『不思議とのみ申してはわからぬが、誰が爲に横死したか』

清『それがね平手先生が斬つた州の崎の政吉と云ふ者の女房の爲に殺されましたさうでございます』

周作先生これを聞くとハラ〳〵と落涙して

周『何と申す、女子の爲に討たれたか、さりとは不心得千萬、これも放蕩いたして師に背きし、天罰であらう』

清『理窟をつければそんなものでございます、しかし先生、平手さんほど腕が出來てゐても女に殺されるやうな事になる、シテ見れば劍術などは頼みにはならねえ、イザと云つた時には一番に危い所を避けるを以て、免許皆傳でございませう』



周『先づそんなものだナしかし武家は劍術又槍術馬術は學ばねばならぬ』

清『それは侍の稼業上稽古をしなければなりますまいが町人百姓にはいらねえ事だ』

周『時に造酒はいづれに葬りあるか』

清『親分繁藏の菩提所に持つて行つたとか聞きましたよ』

周『左様か、貴様によつて平手の消息も知れた、誠に忝ないさア〳〵戻れ〳〵』

清『もう御用はそれきりで困つたなァ、鰹の色が變つたらう、初鰹を一本ドタした節には懐中が違ふ』

周『それはこの方か求めてやる』

清『それは、有難うござんす』

清公は鰹を周作先生に賣り先づ之で稼業になつたと喜んで戻る、後で悴の奇蘇太郎次男の榮次郎又弟定吉其他海保半平東海林鋒吉を呼び平手が婦人の手によつて横死いたした事を話し彼の武藝を習ふはよろしいがその性行は學ぶなと戒めました、しかし先生は平手の技を惜み且は幼少の頃より手許にて養育したものとて一層愛してゐた、折あらば墓參をもいたしてその靈をなぐさめてやらうと思つてゐた、と玆に一場の奇談があるそれは何だといふに繁藏の子分で兄ィと云はれた清瀧の佐吉は下總を立退いて江戸へ出まして神田三河町の相模屋本所中之郷の細川長門守の仲間にありましたこれは身をのがれる爲め立派な兄イ株の佐吉も今では折助、その細川を俗に鳶細川といふ、それは伊達道具……槍の事ですが、その鞘が鳶の様な形をして居るそれで鳶細川と云ふ肥後の熊本の細川家の分家で大層富貴な邸でありました幕の事でしたが部屋頭の三郎兵衛が佐吉を呼んで

三『御苦勞だがナ竹の塚まで行つて來てくれ』

三『何の俺の伯母が竹の塚の百姓に嫁いてゐる、悴がやくざ者で田地を質に入れて金を借りそれを持つて姿を隠した、それ以來貧乏しての毎年盆暮には俺から餅の殘りを送る事になつてゐる、一昨日持つていくつもりであつたが、持病の疝氣で腰がついて歩けねえから今日まで延びてしまつたそこでおめえに頼む、この金を届けてくれ』

佐『何に程ございます』

三『三兩ある、僅な金だがの、この部屋にゐる者は渡り者ばかり、この金故に氣が變ることになると罪をつくらなければならねえ、おめえならば大丈夫、届けておくれ、竹の塚へ行つて孫八と聞けば直に分る……』

梅毒 淋病

專門 淋病 皮膚病 婦人病 十二指腸虫病

松村 胃腸 性病 科醫院

片南町 電話一七〇

一册の代金で御希望通りな五册の雜誌が自由に讀める

川崎巡回文庫 電六三〇番

（申込次第規則書進呈）

家庭温泉御案内

日本一の靈湯草津の元泉に化學的操作を加へたる

草津温泉 湯の素

家庭風呂に外用に！冬の保健衛生に最もです心地よく温まり絶對に湯冷めせず湯上り氣分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、其一ら消毒用として特効あり。

定價 一〇〇瓦入 凡 五日分 五十錢 二五〇瓦入 凡 十二日分 一圓 六〇〇瓦入 凡 三十日分 二圓

其他浴場用旅館用大徳用あり、試用分無代進呈いたします。…煙突掃除薬も販賣致します…

石炭の御用命と共に是非御使用を御奬めいたします

海岸線代理店 石炭商 伊藤軍二商店 平町一丁目電話三四九番

販賣元草津温泉研究所營業部

特約販賣募集 各町村一ヶ所に限る御申越あれ特に御相談に應ず。

吉田眼科病院 平紺屋町、電話六八番

◇又々ウチワ豫約期が來ました◇

本年のウチワ・扇子は諸掛のかゝる外來品より、注文に追加に萬事便利にて、製品及價格に自信のある山久へ！ 是非一度御用命を……

◇平乙女の腕で出來上る町産品◇

山久團扇店 平紺屋町局前 電話(呼)四〇九番

菓子壜硝子器豊富在庫

カレンダー・ポスター

金銀高價買入

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します

平町二丁目(三幸堂跡)

根本時計店 電話六〇七番